

# 健康と光線

## 日本にくる病患児

岡山大学小児科田中弘之助教授が、重度のO脚と歩行異常を訴え来院した1歳11ヶ月の女児くる病例を報告し、新聞各紙で報じられました。患児はアトピー性皮膚炎のため極端に外出を避け、食物制限をしていたとのことですが、同氏によると岡山大学でくる病患児を1996年から2002年までに6例、その後も年間1〜2例経験しているとのこと。

新聞に栄養失調が原因の過去の病氣とされていたビタミンD欠乏性くる病が増加していると言いつてありましたが、原因は栄養失調ではなくマスコミ主導の行き過ぎた紫外線バッシングにあります。乳幼児のくる病予防には成人の4倍のビタミンD(400IU)が必要です。そしてちょっと前まで日本の母親は子

供に日光浴をさせていたためくる病にならなかったのです。如何に日光に恵まれても日光浴をさせなければくる病になって当たり前です。

田中氏がくる病について警鐘を鳴らしたことは時宜を得た報告として評価しなければなりません。同氏は治療のためビタミンDを1年4カ月間投与しています。医師として当然の治療行為ですが、本来、くる病は日光浴で治すべきであり、日光浴の有用性を理解すれば、医師の手を煩わすことなくくる病、骨軟化症、骨粗鬆症の予防ができるからです。

## くる病患児増加の背景

20世紀初頭に日光が生成する栄養素・ビタミンDがくる病を予防することが発見され、わが国の母子手帳でも乳児の日光浴

発行所  
〒153-0063  
東京都目黒区目黒  
4-6-18

サナモア光線協会

年4回発行  
会費500円  
電話 東京(03)  
3793-5281  
3712-5322

## 自然の叡智

一日光栄養素・ビタミンDの  
くる病予防効果

サナモア光線協会

サナモア中央診療所  
医学博士 宇都宮 光明

康と紫外線のはなし・日焼けが皮膚がんをおこす・(株)DHC出版」で、「母子手帳から消えた日光浴のすすめ・日光にあてて赤ちゃんを健康にしようとの考えかたがなくなったのです。ささやかではありますが、日本でも幼いときからの紫外線対策がようやくはじまったといえましょう」と、母子手帳から日光浴が消えたことを歓迎しています。(株)資生堂佐藤悦久学術部長は、「紫外線がわたしたちを狙っている・丸善(株)出版」で、「くる病を防ぐためにわざわざ日光浴をする必要はなさそうです。中略、バランスよく魚をメニューに加えば十分のようです」と、赤ちゃんに魚を食べさせるように勧めています。

## 自然の叡智

表題の自然の叡智は、今年の3月から愛知県で開催される万

博「愛・地球博」のテーマです。万博の自然の叡智は、自然の限りある資源を有効利用する方策を探ることと思いますが、私は自然そのものを叡智と捉えるべきだと思っています。人類が日光の恩に気づくはるか前からくる病を予防してくれていた、このような自然の叡智、換言すれば恵みをないがしろにし、人智に溺れて自然の叡智など有害無益と自惚れてはならないのです。万博が自然に備わった叡智、具体的には日光の恩について考える機会になって欲しいと思います。私はごまめの歯軋りと言われても、生命は人智を超えた自然の叡智によって生かされておられ、変わることはないことを言い続けます。

謹賀新年

平成十七年 元旦

(株)東京光線療法研究所  
サナモア光線治療院

(五日より営業します)



# 一病息災 一病息災

## 带状疱疹と疱疹後神経痛

サナモア光線治療院

院長 医学博士 宇都宮 正範

### 病気の解説

带状疱疹は水痘を起こすのと同じヘルペスウイルスによって引き起こされます。水痘・带状疱疹ウイルスによる最初の感染が終わると、ウイルスは脊髄神経や脳神経の神経節に入り込み、そこに潜伏しますが、ウイルスが再活性化された際に带状疱疹という形で発症するのです。带状疱疹は、一度のみで二度と発病しないこともあれば、何年もたっ

てから再び起こることもあり、エイズやホジキン病のような疾患で、身体の免疫機能が低下している時には発症しやすくなります。

実際には、带状疱疹は、片側の一定神経領域に神経痛様疼痛で発症し、発赤を伴う小水疱が、おかされた神経に局限した皮膚に現れます。症状の出ている部位は、軽く接触した程度の刺激に対してもひどく敏感で、激しい痛みを伴うこともあります。通常は五日ほどで乾燥し始め、痂皮を形成後、軽い瘢痕をもつ

症 例：72歳、女性

主 訴：带状疱疹の病変部に一致したピリピリとした痛み。

起 始・経 過：約1年前に、右側胸部、腋窩、背部にかけて広範に带状疱疹が出現。しばらくして、疱疹は瘢痕を形成して治ったが、それ以降、同部位にピリピリとした痛みが残り、瘢痕のためか、上肢の挙上も困難となった。近医にて、神経ブロック治療（約40回）を受けたが、神経痛様の症状は一向に改善せず、知人の紹介で来院した。

治 療：①左側臥位にて20分、4灯照射。  
右肩から上背部（BD）、腹部（BD）、膝（AB）、足裏（AB）  
②座位にて20分、3灯照射。  
右肩から上腕（BD）、背部（BD）、右腋窩から側胸部（BD）。

経 過：治療開始当初、治療後に若干の違和感を感じていたが、10回の治療施行頃から、ピリピリとした感覚は減り、40回の治療終了時には、痛みを認める範囲が局限され、狭まってきた。また、当初見られた上肢の挙上困難も改善し、徐々に挙上は可能となっている。

### 病気と光線療法

半は数か月でおさまりますが、1年以上続くことも10〜20%に認め、稀には10年以上続くこともあり、生活の質を著しく損なうことになるのです。

て治癒します。しかし皮膚に広範囲の瘢痕を残したり、長く神経痛が残ることもあり、このような皮膚症状治療後の痛みは、疱疹後神経痛と呼ばれます。

疱疹後神経痛の好発部位は、肋間神経領域で、頭部、三叉神経領域、腰部、坐骨部がこれに次いで多く、带状疱疹罹患者の約1割に見られ、高齢者に多く、50歳以上の人では25〜50%に認められます。症状は、持続すること、間欠的なこともあります。夜間または暑さや寒さに反応して悪化することもあります。大

带状疱疹の治療を考える上で重要なことは、痛みを緩和し瘢痕を残さずに治すことと、疱疹後に神経痛を残さないという二点に集約されます。光線療法は、発病初期に見られる痛みを伴う小水疱の段階から効果的で、表面のピリピリとした痛みを緩和するとともに、痂皮形成を促し、瘢痕を残さずきれいに治します。また光線療法には、神経の再生を促進する作用があるために、傷害された神経線維の治癒を促し、皮膚症状治療後に神経痛をきたすことはありません。ただ、本症例のように、長期間、疱疹後神経痛を患っている場合には、数か月の治療期間が必要となりますので、できるだけ、罹患後早い段階からの光線治療が、带状疱疹の治療には大事なのです。



## サ/ナ/モ/ア/便/り

vol.20

宇都宮 正範

## 第十期

サナモア光線治療師  
養成講座のお知らせ

第十期サナモア光線治療師養成講座を、七月に東京において

開講します。早いもので、平成十二年から始まった治療師養成講座も、次回で十回となりますが、これまでに資格を取得された方は、六十名を越えています。今後も、継続して実施する予定でありますので、光線治療院の開業を検討されている方やサナモア光線療法について勉強したいとお考えの方は、是非、ご連絡ください。なお、日程等につきましては、次号に掲載する予定です。

## 第十八回

「光と熱研究会」の  
お知らせ

医療に関連した話題の講演や治験例の報告を中心とした研究会を開催していますので、一般のご愛用者の方も是非ご参加下さい。なお参加は無料です。

日 時：一月二十二日（土）

午後二時三〇分

場 所：サナモア光線治療院  
三階会議室治療院 &  
治療師紹介

このコーナーでは、光線治療院を開業され御活躍中の先生方や、光線治療師の資格を取得され、光線療法の啓蒙・普及活動に携わっている先生方をご紹介させて頂いております。

## 光線とともに

櫻井悦子 光線治療師（九期）  
住所：兵庫県明石市朝霧町

二一四二六

電話：〇七八九二七六二八五

私とサナモア光線との出会いは四十年前になります。その頃の私は、いつも、しんどい、しんどいと言つのが口癖で、医者からも虚弱体質のお墨付きを頂いておりました。肺炎、腎臓病、ヘルニア、リウマチ、筋無力症、乳がんなど、数え切れない病気に悩まされていたある時、日赤に勤めている友人から、サナモア光線を紹介されて、上野貞子先生にお会いしました。その時、親身になって相談に乗ってほしい、色々なことを教えて頂き、迷わずに光線療法を始めたおかげで、様々な病気を克服するこ



櫻井悦子先生

とに成功し、今では薬は一切使わずに、健康で快適に過ごしております。

飲食店経営の傍らで始めた趣味のマラソンにも力が入り、サロマ

## ◆ 募 集 ◆

## サナモア光線治療師

当協会の趣意に賛同され、サナモア光線療法の普及にご協力頂ける方、治療院の開業を検討なさりたい方は、お問い合わせください

〒153-0063

東京都目黒区目黒1-23-11

TEL (03) 5759-3710

FAX (03) 5759-3720

湖五十キロマラソンを完走できる程の体力を取り戻すこともでき、本当に感謝致しております。こんなに元気な身体にしてくれたサナモア光線を一人でも多くの方に知って頂くことが私の恩返しと思い、今年は、サナモア光線治療師の資格も取らせて頂きました。

最後になりますが、最近、私がサナモア光線を紹介した方々と会うたびに、「どんな病気になってもサナモア光線教組様がいてくれるから毎日が元気で幸せよ」との声を聞かせて頂き、励みになっております。



第16回

日本療術学会から

愛媛県松山市・松山全日空ホテル  
平成16年11月7日(日) 8日(月)

シンポジウム

健康寿命と

光線療法



全療財団光線部門

代表世話人 宇都宮光明

## 健康寿命

健康寿命とは「日常生活に障害がない、身体的、精神的、社会的に良好な健康状態を保つ生存期間」と言えるが、加齢に伴う身体・精神機能の低下、疾病罹患に個人差があるため、健康寿命を延ばす方策がさまざまな観点から提言されている。演者は健康寿命に益する生活習慣に

太陽光線の恵みは欠かせないものと考えているが、その数ある恵みの中から、ビタミンDを生成する利点とビタミンDの疾病予防効果、特に癌予防について考察する。

## サナモア光線療法の特長

本題に入る前にサナモア光線療法の特長に触れておく。現在、多様な人工光線療法があるが、サナモアは光線療法の原点の日光療法に近似した光線、すなわち紫外線から赤外線まで放射することから、日光療法に準じた人工光線療法として応用できることである。

## 光線でビタミンDを

## 生成する利点

光線のビタミンD生成作用は紫外線の抗くる病作用で発見されたが、母乳を含め地上の食品では補えないビタミンDを生成して欠乏症を防ぎ、食品で重篤なビタミンD過剰症を起こさない巧みな自然の摂理である。ビタミンDにはカルシウム代謝調節作用と細胞分化誘導作用があるが、カルシウム代謝に関与す

るビタミンDを生成すると、カルシウム代謝には関わらないが細胞分化に関わることが示唆されるビタミンD関連化合物を生成する。換言すれば、健康寿命に益するビタミンDを十分に補えるのは光線だけであり、カルシウム代謝に係るビタミンD欠乏症と過剰症は文明発祥前にはなかった文明病である。

## ビタミンD所要量

カルシウム代謝に関わるビタミンDが欠乏してカルシウムパラドックスを起こすと、くる病、骨軟化症、骨粗鬆症のみならず、動脈硬化症、高血圧症、糖尿病、免疫異常、感染症、悪性腫瘍など生活習慣病の危険因子になることは昨年の本学会で報告した。そのために必要なビタミンD所要量は国で異なり、わが国の成人の基準値は最も低く100IU(国際単位)とされるが、諸外国では骨粗鬆症の予防に400IUは必要との見解が大勢である。加えて後述するようにビタミンD関

連化合物が細胞分化に係ることが疫学的に示唆される。無論、常に光線を浴びていればビタミンD所要量の議論は必要ない。

## 皮膚癌を予防する光回復

近年、紫外線は皮膚癌の原因と負の面のみを強調し、ビタミンD生成など功の面は切り捨てて風潮がある。しかし現実にはわが国で紫外線による皮膚癌が極めて稀なのは、光線の恵みを受けるために獲得した神秘的な能力、すなわち紫外線による遺伝子(DNA)の傷を紫外線が活性化

## 紫外線被曝量と癌予防効果

- 紫外線被曝量が多いアメリカ南部諸州と少ない北東部諸州の乳癌、大腸癌、卵巣癌、前立腺癌、悪性リンパ腫、膀胱癌、食道癌、腎臓癌、肺癌、脾臓癌、直腸癌、胃癌、子宮癌の罹病率を比較し、後者で罹病率が高く、死亡率がほぼ二倍になる癌もある(ウィリアム・グラント博士)。
- 悪性黒色腫の屋内労働者の発症率は屋外労働者の二倍(ヘレン・ショウ博士)。

で修復する光回復があるからである。その上、紫外線被曝量が多いほど日常経験する多くの癌を予防する効果が報告されている。

## 紫外線被曝量と

## 癌予防効果

紫外線被曝量の多寡と癌罹病率の関連については、1980年にガーランドが乳癌と大腸癌の罹病率、死亡率がアメリカ南部で低く北部で高い疫学的事実について検討した報告に端を発する。その後、同様な研究結果が卵巣癌、前立腺癌、悪性リンパ腫で報告された。2002年にグラントは紫外線被曝量が多いアメリカ南部諸州と少ない北東部諸州の癌罹病率、死亡率を詳細に検討し、表示した13の癌で紫外線被曝量に癌予防効果があり、被曝量が少ない地域では多い地域に比べ死亡率がほぼ二倍になる癌もあると報告した。また1982年にショウ博士らは悪性黒色腫が屋内労働者に多く屋外労働者の二倍になると報告している。



△四ページから△△△△

これらの報告は紫外線被曝量が増すほど癌予防効果があることを示している。これに関連して、1981年に阿部らが実験的に、ビタミンDがマウス骨髄性白血病細胞の増殖を抑制しマクロファージへの分化を促すことを報告し、ビタミンDが腫瘍細胞のビタミンD受容体を介して正常細胞への分化を促すことを明らかにした。そのため副作用のない抗癌剤として、細胞分化誘導作用のみが強いビタミンD製剤の開発が期待されている。

## 健康長寿はシンプルライフにある

健康寿命を保って限界寿命を生きる、健康長寿こそすべての人の願いである。その願いを叶える基本は、ヒトもヒトの思惑で変わらない自然の摂理の下で生きる動物である、この不変の真理を自覚することである。すなわち健康長寿は自然と共生するシンプルライフ、食事は好き嫌いなく腹八分、移動は自分の足、そして必ず光線を浴びることを忘れてはならない。

### 一般演題

## 網膜剥離の治療経験



社団法人 神奈川県療術師会

海渡 一二三

### 目的

糖尿病で病院に通院中、平成11年3月頃に視力低下、視野狭窄を自覚したため眼科を受診、網膜剥離と診断されレーザー光線治療を受けたが、視力障害はそれからも進行した。そのため光線療法を紹介されて来所し、視力の回復を認めたので概要を報告する。

### 症例

(患者) 63歳 女性 主婦  
(主訴) 視力障害  
(既往歴) 糖尿病以外に特記すべきことなし。

〔現病歴〕 糖尿病で通院中、視力障害を自覚し眼科受診、網膜剥離と診断されてレーザー光線治療を片目ずつ20回以上受けた。その都度目の痛みが辛く少し休んで帰宅したが視力は回復せず、人や物がぼやけて輪郭が分かる程度になった。そのため失明の不安を患子の嫁に話した。嫁は実家が光線療法の実用者で、嫁から光線療法を強く勧められ、薬をもつかむ心境で平成12年6月21日に来所した。

〔初診時所見〕 患者は演者がぼやけてはつきり見えず、日常生活は手探りで行っている状態であった。また足指の巻き爪、腰痛、両膝痛についても治療を望んでいた。

### 治療ならびに経過

病歴から糖尿病性網膜症から網膜剥離を併発した可能性を考え、治療は長期に継続する必要があることを告げ了解を得て治療することにした。カーボンはBとDを組み合わせ、4台で4灯照射をした。まず側臥位で目に目を閉じて30分、腰と臀部に30分、膝に15分、足指の爪に15分、次いで腹と後頭部と足裏と

足指の爪に各10分照射してから、仰臥位で左側頭部、右股関節、左から膝、右から足首に各15分、次いで右側頭部、左股関節、右から膝、左から足首に各15分照射した。なおレーザー光線治療は当院での治療を始めてから受けていない。

演者は光線を照射した際に見られる皮膚の色むらは、効果が出てくると平均したピンク色になることを長年観察している。この患者では顔以外の皮膚の色むらは治療2ヶ月頃から目立たなくなり、腰痛と巻き爪の痛みは訴えなくなったが、顔には色むらがあり、視力回復の徴候がないため、以前治療した糖尿病による眼底出血の症例に準じて、目への照射時間を60分に延長した。治療を始めて半年を経た平成13年1月頃から顔の皮膚の色むらはなくなり、健康的なピンク色になってきたが、その頃から少しずつ視力の回復を自覚するようになり、翌2月の中旬には前より物がはつきり見えるまで回復した。この視力の回復は病院でも確認されたので、それからは当院での治療の回数を減らし自宅治療を併用した。

### 考察ならびに結語

その後も視力は徐々に視力障害を自覚する前の状態まで回復したため、平成14年8月に病院で精密検査を受けるように勧め、糖尿病、眼底所見とも良好に経過していることが確認されたので、当院での治療は中止し自宅で治療を続けるように指示した。

それから今日まで患者は自宅で光線療法を続けているが、視力については演者がはつきり見えると喜んでいいる。

患者の視力が大幅に低下したのは、糖尿病に特有な糖尿病性細小血管症が病因の糖尿病性網膜症のため新生血管が増殖して出血を反復して起こし、延いては網膜を牽引して牽引性網膜剥離を起こしたためと考えられる。このような視力障害に光線療法を行う際には目に必ず目を閉じて照射するが、可視線や近赤外線は眼透光体を損傷することなく網膜に達して吸収され、眼底の血管を強化し、循環障害を改善し、網膜の出血や浮腫を吸収し、視力障害を改善する効果が期待できる。



## 治験例報告

## 突発性難聴が光線療法で軽快した

神戸市 ウエノ光線療研

上野 健太郎氏報告

症例 43歳 男性 会社員

症状 職場の配置転換で、慣れな部署に移ってから緊張の毎日が続いてきたが、四か月が過ぎたある日、突然、右の耳に閉塞感を認め、聞こえなくなる。近所の耳鼻科で検査した結果、突発性難聴と診断され、これは精神的ストレスなどが原因で内耳の血液循環が急に悪くなつて発症すると考えられているが、本当の原因はまだ説明されていないと説明を受け、約一週間の薬物治療を受けた。しかし、症状は一向に改善しなかったため、サナモア愛用者の姉の勧めにより来所した。

療法経過 治療は集光器を使用して、BDカーボンで、右耳30分、左耳10分、後頭部20分、閉

眼にて顔面10分、喉頭部10分、足裏10分の照射を施行した。翌日から、自宅での治療は、同様の方法にて一日に二回は照射し、さらにABカーボンで、腹部10分、膝5分を加えるよう指

示。二日目の夜、右耳の塞がれた感覚がとれて、かすかに聞こえるようになる。さらに続けたところ、四日目には電話の音が聞こえることに気が付いた。出社してからは、一日に一回の照射となったが、一週間でかなり聞こえるまでに回復した。二週間で普通の会話が十分に聞き取れて日常生活に不自由を感じなくなり、三週間経った頃には、全く、元に戻ったことを自覚できた。  
(TEL)〇七八一三二一三五八

## 治験例報告

## 乳がんを光線療法で治療

福岡県春日市 育美健康光線療研

山崎 いく子氏報告

症例 85歳 女性

症状 サナモア愛用者の娘より、母親の乳頭の一部がへこみ、そこから少し出血が見られるのでどのように治療したら良いかという電話相談を受ける。こちら

からは、BDカーボンで20分患部を照射して、さらに集光器使用にて、30分から60分くらい照射するよう指示し、必ず病院で診察を受けるように話した。一か月後の電話連絡では、近くの

## サナモアカーボンの類似品にご注意下さい

\*\*\*\*\*

サナモアA(緑印)、B(赤印)、C(青印)、D(黄印)カーボンは、その使用法を書いた著書「光線療法学」ともどもご愛用者各位の御信頼を戴き、全国津々浦々まで高い評価を受けておりますことはご存じの通りです。

ところが他社製カーボンに「光線療法学」をセットしたり、当研究所が独自に広めたカーボンの呼び名のA、B、C、Dや緑印、赤印、青印、黄印を勝手に流用したり、あたかもサナモアと同じと見せ掛けて販売している業者がいます。もとより、このような道理にもとる人をあざむく行為は断じて許されるものではありませんが、当研究所としては他社製カーボンを使用した場合の効果について一切の責任は持てませんので呉々もご注意下さい。

なおカーボンについて疑問の点がありましたらお問い合わせ下さい。

株東京光線療法研究所

病院の医師に、細胞検査の結果から乳がんと診断されるので、すぐに手術をした方が良いと説明されたが、患部からの出血も光線療法で止まっており、母親自身、もう高齢なので光線療法で治したいと強く希望した。

療法経過 治療はBDカーボンにて、足裏、膝、腰部、腹部、背部の基本照射を各20分ずつ行い、患部である乳頭には、照射時間は長ければ長いほど効果があから、時間のある時はつねに照射を心掛けるように指示した。また、連う病院でも診ても

らうように話した。一か月後に電話があり、やはり、大学病院でも乳がんと診断されたが、高齢を理由に、手術はせずに、薬物治療を勧められたとのことであった。その後、光線療法を毎日のように続け、良好に経過し、一年後に来所したが、その時には、乳がんは分からないまでに改善していた。しかし、念のため、今後も光線療法を続けるよう指示した。

(TEL)〇九二八

五八一二〇三九  
五七二一五七三



## 治験例報告

## 二十年来の白内障が

## 光線療法で治った

川崎市 東京光線治療院

海・渡 一二三氏報告

症例 73歳 女性 主婦

症状 二十年前から白内障を患い、徐々に水晶体の混濁が進み、ほぼ失明に近い状態となったため、外出時にはいつも娘に手を引かれていた。娘が眼科で手術をすれば良くなると話しても、手術は絶対いやだと言って何年も医者にかからず家族も困っていた時、知人から、眼の治療にはサナモア光線療法が良いと紹介された。初診時、確かに、左右の眼は真っ白に混濁しており、ほぼ見えない状態であったので、娘さんには、毎日治療を継続する必要がある、長期間の治療が必要になると説明した。

療法経過 治療はA Bカーボンにて三台の治療器を使用。側臥位にて、顔面、腰部、膝を10分照射し、その後、腹部、後頭部、足裏を10分照射した。さらに、仰臥位として、右顔面、左腰部、右膝に10分、左顔面、右腹部、

左膝を10分照射して終了した。光線治療により、毎日のように、両眼からは涙に加えて、ねばね

## 治験例報告

## 十九歳で発症した脳出血の

## 後遺症が光線療法で改善

埼玉県朝霞市 あさか治療院

麻生 律 子氏報告

症例 24歳 女性

症状 19歳の三月に頭痛と顔面神経麻痺を認め、四月に意識を失い倒れたため、救急入院となる。検査の結果から、頭蓋内の海綿状血管腫が破裂し、右脳に広範囲に出血をきたしていることを確認。二週間の臥床後、リハビリテーションを約三か月行い、何とか歩行が可能な程度にまで回復した。20歳で就職したが、通勤途中に、上下肢にしび

ばとした液状物の分泌を認めた。継続治療したところ、徐々に、物が見えるようになり、一年三か月後には、視力が回復し、ねばねばした液状物の分泌は消失していた。家族は大変満足され、患者は二十年ぶりに、はつきりとした。人の顔が見えたと大喜びであった。(TEL 044-732-5067)

れと痛みを認め電車通勤が困難な状態となる。21歳時には、上下肢のしびれと痛みに加えて頭痛も強くなり、病院で検査を受けたが、脳内に新たな病巣はなく、神経症状については、「がまんしてください。」との説明を受けた。マッサージや整体治療に通うが、一向に改善しないため、母親の勧めで来所した。療法経過 治療効果を高めるために、四から五台の治療器を使

用し、ルーフ式マルチアーク療法にて開始した。既往歴に、アトピー、ヘルペス、卵巣疾患などがあることから、基礎体力をも改善する必要があると感じ、その点にも注目しながら治療した。最初、側臥位にて、A B、A C、B B、B C、B Dカーボンを適宜用いて、足裏、膝部、腹部、腰部、頸椎下部に20分照射後、肩甲骨部、肘部、前腕部、鎖骨部を四台で同時に15分照射した。治療開始一か月後には、頭痛と上腕のしびれと痛みは軽くなるが、肘から指先までの症状は変化なく経過。さ

## 全自動光線治療器

はつらつさんと  
ジョイントカーボン

サナモアはカーボンの芯剤を完全燃焼させることで最も効果のあるスペクトルを含む光線を放射するように、正面からカーボンをぶつける正面発光式を採用しています。そのため手動式のサナモア7号器・8号器では照射時間が十分強で切れ、長時間の照射にはご不便をお掛けしてきまし

た。この点を改良したのが全

らに治療を続けたところ、二か月経過頃から、様々な陽性反応(湿疹、むくみ等)が出現する。しかし、陽性反応も数回後には消失。上肢のしびれと痛みは強弱を繰り返すような状態が続くも、三か月を過ぎた頃から、痛みが和らぎ、明らかに改善が分かるようになり、体調の変化を実感することができた。四か月過ぎには、手掌に時々しびれを感じる程度にまでなり、六か月後には、嘘のように神経症状は改善して体調も良好となった。(TEL 048-474-4782)

自動光線治療器はつらつさんで、照射時間は5分刻みで60分まで設定でき、時間に合わせてジョイントできるサナモアカーボンをつないでおけば、自動的にカーボンを送り安定した光線を放射します。

なお、はつらつさんご使用の際には、安全性を保ち、事故を未然に防ぐため、ジョイントカーボン以外のカーボンは絶対に使用しないで下さい。使用上の注意は、「はつらつさん取扱説明書」をご覧ください。



# サナモア光線療法体験記

五十年前、私は光線療法で  
奇跡的に一命を

取りとめました

川崎市 白子 千代子様

私の体験記はとても古いものです。昭和十九年春、肋膜炎にかかり、一度は回復しましたが、二年後に再発し、今度は脊椎カリエスを患いました。一回目は足の付け根に膿がたまり、次は右の脇腹にたまりました。医者の勧めにより、ギブスベッドに寝て、一年半の間、自宅で寝たきりの生活を余儀なくされました。身体は痩せ細り、食事ももとより、水も飲めないような状態でした。その時、私は二十三歳で、食べられるうちは生きられる。この若さで死んでたまるかと必死でした。水も飲めなくなり、朝、目が覚めるとまだ生きていると思う状態でした。その時、知り合いのおばさんが、サナモアへ行き光線をかけてもらったところ、とても気持ち良かったので、私にもどうかと先生にお話してくれました。

先生は、そのような病気にはきつと効果がありますとおっしゃって下さいました。昭和二十三年の十二月二十五日からです。先生自ら、光線治療器を持ってきて下さり、膝から下、足の裏にかけて下さいました。先代の先生でしたが、一週間毎日かけにいらっしやうて下さり、「そんな寝たきりにしていると死んでしまうから起きなさい」とおっしゃいました。それからトイレにも行き少しずつ動くようになりました。驚くことに今まで水も飲めなかった者が、なんと、お正月元旦にお雑煮を食べられたのです。さらに膿がたまったところや全身に一生懸命かけました。膿のところは梅干大に赤くなり、一枚一枚、薄皮が剥れ、ある日、そこに穴があき、どろどろとした膿がでてきました。その膿もだんだんとすくなくなり、とうとうその穴も塞がってしまいました。レントゲンを撮ったところ、骨は固まってきているとのこと、私は一命を取りとめました。

その後、光線は五年かけ続けました。その時には、もう二十八歳になり、私には青春もなかったとよく言いました。その翌年に、結婚しましたが、今でも光線をかけ続けています。今、私は七十八歳になりましたが、元気に過ごしております。これまで、色々と病気をし、現代医学にもお世話になりました。でも私には光線しかありませんでした。今日あるのも宇都宮義真先生とサナモア光線のおかげと感謝しております。これからも、決して光線は離れません。現在の体験記にはなりませんけど、こういうこともあった事を御一読頂ければと思います。

## サナモア体験記募集

サナモアの効果は体験しないと信じられないところがありますが、実際に効果を体験した体験記ほど説得力のあるものはありません。ついでに体験記をお送りくださいますよつ、お願いいたします。

なお掲載させて頂いた方には、薄謝を贈呈致します。

サナモア



Sanamo

サナモア光線協会

趣意書

サナモア光線協会は、太陽光線こそ健康を増進する自然の恵みの源泉であり、生命力を高めて病気の予防、治療に効果があるとの観点に立ち、太陽光線に近似したフルスペクトル光線を放射するサナモア光線療法の啓蒙、普及活動に努めることで、国民の健康、福祉に貢献します。

サナモア光線協会は、サナモア光線療法に対する認知と評価を高めるため、  
一、季刊紙、「健康と光線」の発行  
二、サナモア光線治療師の募集と育成。  
の事業を行います。

サナモア光線協会

医学博士 宇都宮 光明

「健康と光線」の購読者を募集します。  
また事業の詳細はお問い合わせ下さい。

〒153-0063 東京都目黒区目黒4-6-18

サナモア光線協会TEL (03) 三七九三―五二八―  
三七二―一五三三―

(本紙の無断転用を禁止します。)